

特集：行政視察研修2025

議員コラム：竹島 貴行

ふなはし議会だより

Funahashi

ふなはし

Bridging

ぶりっじんぐ

Voices

うおいしきず

INDEX

- 特集：行政視察研修2025 P 2
- NEWS P 6
- 9月議会号アンケート報告 P 7
- FUN! FUN! FUNAHASHI! P 8
- 一般質問 P 9
- 議員コラム：竹島 貴行 P16
- 12月定例会議案一覧 P17
- 常任委員会 P18
- クロスワード、あとがき P20



本年も火災や災害のない良き一年となることを願い、舟橋村消防出初式が1月10日に挙行された。佛生寺地内で行われた一斉放水では、消防団員、分遣所員が青空を赤・紫・白に彩った。

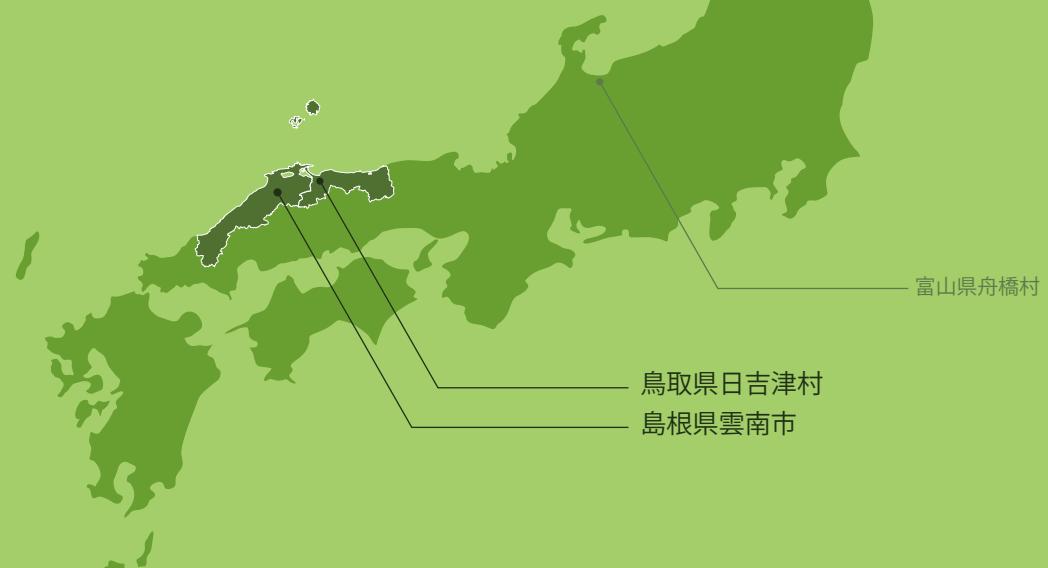
令和8年舟橋村消防出初式

行政視察研修 2025

2025.11.10 ~ 2025.11.11

“ちいさい”を生かせ！

雲南市と日吉津村の取り組みを学ぶ



小

規模多機能自治（地域自主組織）による住民主体のまちづくり

■住民主体のまちづくり

雲南市では、住民が主体となって地域の課題解決や魅力づくりに取り組む「地域自主組織」による地域自治が行われています。これは、自治会や町内会を中心に、PTA や消防団など、さまざまな団体が力を合わせて活動するネットワーク型の組織です。おおむね小学校区ごとに一つの地域自主組織があり、100 人から 3,500 人ほどの住民を一つの組織で支えています。(平成 27 年に合併した 1 組織を除く)

地域自主組織は交流センターを拠点に活動しており、常勤スタッフ 2 名分の人事費や活動費は市が補助し、担当職員による支援も行われています。

それぞれの地域自主組織では、地域の実情に合わせたさまざまな取り組みが行われています。教室やイベントの開催だけでなく、高齢者の見守りや移動の支援など、行政が行つても不思議ではないような活動もあります。さらに、売店や飲食店の運営といった事業に取り組んでいる地域もあります。地域ごとに異なる課題について、行政に頼るだけでなく、「地域でできることは地域で解決する」仕組みがつくられている点は、とても特徴的で魅力的だと感じました。

■地域自主組織の取組事例

【はたマーケット】(波多コミュニティ協議会)

地区唯一の個人商店が閉店し、高齢者などから買い物に困るという声が上がりいました。そこで地域で検討を進め、市から全日食チェーンの紹介を受け、波多交流センター内に「はたマーケット」を開設しました。生鮮品や日用品、地元産品などを販売し、買い物を通じた地域の交流の場にもなっています。



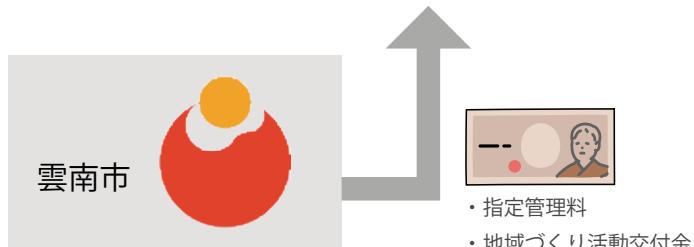
地域自主組織

地縁型組織：自治会、町内会

目的型組織：消防団、営農組織、文化サークル

属性型組織：PTA、女性グループ、高齢者の会

雲南市全域で 30 組織（概ね小学校区）



【どぶろく&田舎料理レストラン運営事業】(日登の郷)

築 130 年の茅葺き古民家を移築し、地産地消と旬にこだわった奥出雲の郷土料理を提供する農家レストラン「かやぶき」を運営しています。料理は、地域で募った料理上手な女性たちが担当。その味が評判を呼び、寝台列車「瑞風」の乗客にも提供されています。



雲南市プロフィール

面積：553.18 km²

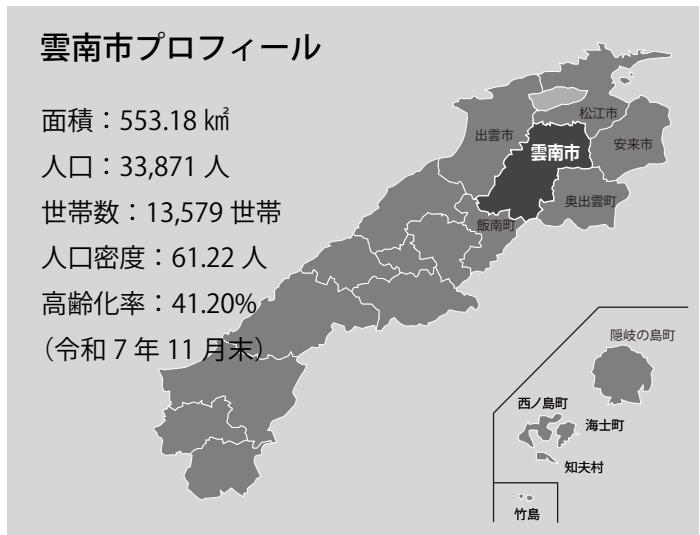
人口：33,871 人

世帯数：13,579 世帯

人口密度：61.22 人

高齢化率：41.20%

(令和 7 年 11 月末)



本州で2番目、日本で4番目に 小さな村を維持する為の工夫

■ 本州で本村の次に小さな村

日吉津村は鳥取県西部に位置し、日本で4番目に面積が小さい村です。米子市の北側にあり、東には大山、北には日本海、西には日野川を望む、自然に恵まれた地域です。村内には、豊かな農地をはじめ、活力ある工業・商業エリア、閑静な住宅地、そして子育てや教育環境が整った文教エリアがコンパクトにまとまっています。本村と規模の近い自治体であることから、参考にできる取り組みや課題も多いのではないかと考え、今回、日吉津村を訪問しました。

	舟橋村		日吉津村		比率(%)
	数値	時点	数値	時点	
面積 (km ²)	3.47	R8	4.20	R8	121.0
人口 (人)	3329	R8	3585	R8	107.7
世帯数 (世帯)	1244	R8	1297	R8	104.3
一般歳入(億)	21.7	R7	33.4	R7	153.9
議員定数 (人)	7	R8	10	R8	142.9
自治会数 (個)	13	R8	7	R8	53.8
田(%)	49.30	R2	24.10	R7	48.9
畠(%)	0.60	R2	12.40	R7	2066.7
宅地(%)	16.40	R2	30.20	R7	184.1
その他(%)	33.70	R2	33.30	R7	98.8

■ 日吉津村ネベッドタウン

データを見比べると、舟橋村と日吉津村は非常によく似ています。しかし、両村には昼夜人口に大きな違いがありました。舟橋村が夜間に人口が増える、いわゆるベッドタウンであるのに対し、日吉津村は昼間に人口が増える地域です。その背景には、村内に大型ショッピングセンターや王子製紙株式会社の工場があること、また米子市に囲まれた立地条件があると考えられます。一方で、国の施策や業務に伴う村役場の負担増や、人口増加に対応した保育・預かり施設の増床など、共通する課題も伺うことができました。



■ 防災行政無線のデジタル化整備事業



日吉津村では、防災無線の戸別受信機を全戸に貸し出してきましたが、経年による機器の不具合や転入世帯の増加により、全戸への貸し出しが難しくなっていました。そこで、防災無線と連携するアプリ「コスモキャスト」を導入しています。舟橋村で導入している「結ネット」についても、音声読み上げ機能を備えた機器の実証実験が、滑川市で始まる予定です。緊急避難情報が村民に確実に伝わるよう、こうした取り組みを進めていくことが重要だと感じました。



日吉津村プロフィール

面積：4.20 km²

人口：3,585 人

世帯数：1,297 世帯

人口密度：853.57 人

(令和8年1月)



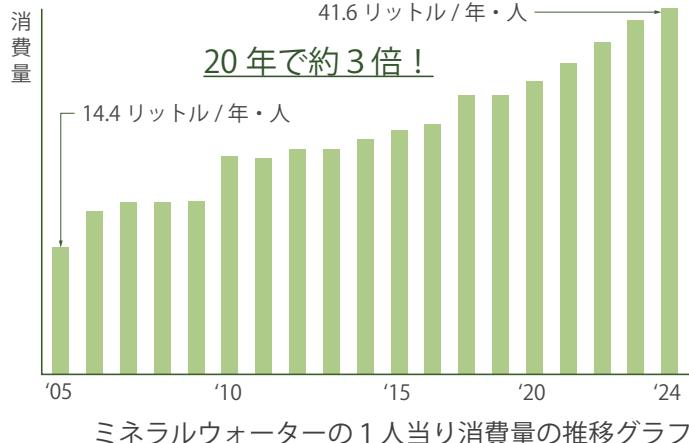
奇跡の水の採水地と 小さな充填工場

■舟橋村の水を全国に！

きっかけは、誰かの何気ない一言でした。

「舟橋村の地下水を商品化できないか？」

舟橋村では今も井戸が活躍しています。富山も水がきれいなことで全国的に知られており、近年のミネラルウォーター消費量の増加を考えると、可能性は十分にあると感じました。県内には大規模な工場もありますが、本村でいきなり大きな工場を建設することは現実的ではありません。そこでまずは必要最小限の施設や設備を調べるために、鳥取県倉吉市にあるミネラルウォーターの充填工場を見学させていただきました。



■奇跡の水！白山命水。

白山命水は、源泉井戸の深さ約 242 メートルから汲み上げられる地下水で、花崗岩層をはじめとする三層の岩盤による天然のフィルターを通り、長い時間をかけて育まれた水です。採水地周辺は森林に囲まれた自然豊かな環境にあり、良好な水環境が保たれています。

こうした恵まれた自然環境から生まれた白山命水は、天然の還元力を持ち、天然ラドンを含有していることに加え、弱アルカリ性で飲みやすく、酸素をほとんど含まない点や、ミネラルバランスが良いことなどが特徴として挙げられます。



【まとめ】大満足の視察でした！

舟橋村議会としては久しぶりの宿泊を伴う県外への行政視察研修とい

味深いものでした。

うことで、どのような成果が得られ

名水の里とやまの中心に位置する舟

せるものであり、災害対策の強化と

るか不安もありましたが、結果とし

橋村も、多くの湧き水があり、十分に

いう観点からも大いに参考となりま

てはとても満足のいく視察になった

売り物になるのではないかという想い

した。

と思っていました。

の中、実際に取り組んでおられる白山

今回の視察を通じ、地域の特性に

まず雲南市では、地域自主組織を中心として地域コミュニティを再生し、住民同士のつながりを育むため

命水の施設も見学させていただきまし

応じた工夫や、住民と行政が共に地域を支える姿勢の重要性を改めて認識しました。得られた学びを今後の

の多様な取り組みが進められており、その柔軟な発想と実践の積み重ねは、人口規模の小さな自治体である本村にとっても大いに参考となるものでした。行政が一方的に支えるのではなく、住民が主体となって地域を動かす仕組みづくりは、舟橋村においても学ぶべき視点が多く、非常に興

た。良い点も課題になりそうな点も、村で取り組もうと考える際の参考になりました。

最後に訪れた日吉津村は、人口規模こそ舟橋村とほぼ同じであるものの、大型商業施設の存在により昼間人口が多く、ある意味で本村とは対照的な特徴を持つ自治体でした。しかし、デジタル防災無線システムの導入と活用など、村の規模に応じた実践的な取り組みは、舟橋村でも導入可能性を感じさせました。

果たしてまいります。(古川 記)



NEWS

最近の気になる議会関連ニュース！

- 01 下水道処理施設に興味津々
- 02 未来のゴミ処理のカタチを学ぶ
- 03 令和7年は7団体の視察を受入れ
- 04 今年も無火災を願って

NEWS

01

下水道処理施設に興味津々

2025. 10. 24 中新川郡町村議会議長会

中新川郡の立山町議会・上市町議会・舟橋村議会の2町1村で構成されている中新川郡町村議会議長会ですが、毎年各町村が持ち回りで議員それぞれの資質向上と研鑽を高める事を目的とした研修会を行っています。今年は舟橋村議会が事務局となっており、視察場所を検討し、これも2町1村で広域的に運営を行っている舟橋村国重地内に所在する、中新川広域行政事務組合を視察場所として、議員の皆さんにおいて頂き、介護保険・下水道についての研修そして施設を見学しました。日頃から関心の深い施設見学で皆さん熱心に研修を受けたり質問をしたりと大変有意義な研修であったと感じました。研修終了後は舟橋村東芦原地内にあるdadadaで意見交換会を行い、日頃あまり話す機会のない議員の皆さんとも交流を深めることができて価値ある時間を過ごせたと感じました。（前原 記）



NEWS

02

未来のゴミ処理のカタチを学ぶ

2025. 11. 18～19 富山地区広域圏事務組合 視察研修

富山市、滑川市、立山町、上市町、舟橋村で構成される富山地区広域圏事務組合はゴミ焼却施設のクリーンセンター業務に関わるゴミ処理業務などを担っており、その理事として各自治体から議員が参加しています。当クリーンセンターももう業務開始から32年が経過し、そろそろその老朽化の対策をどのようにしていくのかを考えいかなければならない時期に差し掛かっています。視察研修ではその先進地である四日市と名古屋のクリーンセンターを見学させていただきました。見学者への環境意識の啓発を意識したエンタメ性のある見学ができるように工夫されており、ペットの火葬場を併設して献花もできるようになっていたりと、新しい視点に驚かされるとともに、今後ますますの3Rの徹底への意識を高めることができました。（古川 記）



NEWS

03

令和7年は7団体の視察を受入れ

2025. 1. 28～11. 14

舟橋村は日本一小さな村でありながら、人口が増え続けている奇跡の村ということで、全国から人口減少に困っておられる自治体の地方議員の皆様が視察に見えられます。令和7年は兵庫県朝来市議会、群馬県玉村町議会、山形県白鷹町議会、石川県羽咋郡町議会議長会、新潟県議会、北海道小平町議会、鳥取県西部町議会議長会の合計7団体からの視察を受け入れました。中でも偶然にもこちらから視察に伺った日吉津村を含む鳥取県西部議長会からも同じ週の内に視察に来られ、夜は富山市で懇親会でも意見交換をさせていただきました。舟橋村や富山のファンになっていただき、ここでの学びが少しでも各地の地方創生に役立ってくれることを願っています。（古川 記）



04 今年も無火災を願って

2026. 1. 10 舟橋村消防出初式

令和8年 輝かしい新春を迎え、1月10日は舟橋村消防出初式が盛大に挙行されました。当日は晴天にも恵まれ、立山連峰の峰々を背景に行われた放水には感動しました。消防団員の皆さんや舟橋分遣所の所員の皆さんには、日頃から地域の安全・安心を守るために、訓練を重ね昼夜を問わず献身的な活動を続けて頂いております。自然災害や火災のリスクは年々多様化・激甚化しておりますが、その中で、団員の皆さんの確かな技術と強い使命感は、地域住民にとっては何よりの安心であり、かけがえのない存在です。今年一年、災害や火災が起きないことを願いながら、本年も、どうか健康と安全に留意され、地域の防災力向上のために引き続きご尽力を頂きたいと思います。(前原 記)



クロスワード毎回すごいなと思います。

9月議会号アンケート報告

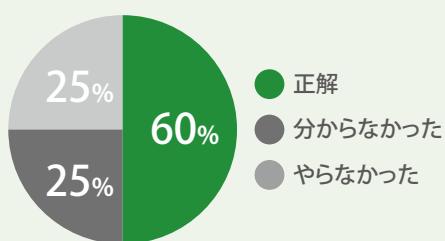
問4、今回の議会だよりで関心を持った記事はどれですか？（複数回答可）



問5、クロスワードの答え

今年本村と広報連携に関する覚書を締結した国

ナ_A ウ_B ル_C 共和国



問6、議会だよりについて、ご意見・ご要望をお聞かせください。

- 舟橋村のスポーツ特集が興味深く読めました。スポーツすることで心身の健康維持はもちろん、仲間もでき、舟橋村での生活がより素敵なものになると思います。みやすく楽しく紹介いただきありがとうございました！
- クロスワード毎回すごいなと思います。特集はこれまでよく分からなかった舟橋村のスポーツ団体のことがなんとなく分かりました。
- 関係写真がもっとあればと思います。

9月議会号はこちら



FUN! FUN! FUNAHASHI!

FUN!FUN!FUNAHASHI! は、スポーツや文化活動などでがんばっている村民や楽しんでいる村民を紹介します。今回は以下の質問に答えてもらいました。

- ①今がんばっている事
- ②将来の夢、今後の目標
- ③スポーツ／文化活動を始めたきっかけ
- ④舟橋村の好きなところ

舟橋村健康福祉課

Chiharu
Kawanami



かわ なみ ち はる
川並 千春 さん

- ①管理栄養士業務と保育業務との両立。病院と行政とでは管理栄養士に求められる知識が違うので、正しくわかりやすくお伝えすることをモットーに日々勉強中。
- ②「食事のことなら、まずは役場の管理栄養士さんに聞いてみよう」と村の皆さんに真っ先に思い出してもらえるような身近な存在になること
- ③スノーボード（友達に誘われて始めました）
- ④自然と人々の活気がぎゅっと詰まっているところ。特に晴れた日の立山連峰は感動！

素敵な村民
みーつけた！



にし むら けん と
西村 賢人 さん

- ①舟橋村のひまわり、レインボーリーリーの普及と広報
- ②サンフラワープロジェクトの事業化と継続
- ③地方や栽培が気になっていたところ、NFTで地域おこしをしてみないかとお声がけ頂いたので
- ④いい人、面白い人が自然と集まってくるところ

舟橋村健康福祉課

Chiharu
Kawanami



かわ なみ ち はる
川並 千春 さん

- ①管理栄養士業務と保育業務との両立。病院と行政とでは管理栄養士に求められる知識が違うので、正しくわかりやすくお伝えすることをモットーに日々勉強中。
- ②「食事のことなら、まずは役場の管理栄養士さんに聞いてみよう」と村の皆さんに真っ先に思い出してもらえるような身近な存在になること
- ③スノーボード（友達に誘われて始めました）
- ④自然と人々の活気がぎゅっと詰まっているところ。特に晴れた日の立山連峰は感動！

舟橋村総務課

Kazuki
Itou



い とう か づき
伊東 香月 さん

- ①フラワーアレンジメント
- ②基本を守りつつ、もっと自分らしさを出した作品にすること
- ③友人のお母さん（お花教室の先生）に声を掛けてもらったこと
- ④人と人との距離が近いところ

FUN!FUN!FUNAHASHI! あなたの活動を紹介させてください！

FUN!FUN!FUNAHASHI! では、スポーツや文化活動などでがんばっていたり、楽しんでいたりする村民を今後も紹介していきます。年齢や分野は問いません。あなたのFUN（がんばっている事や楽しんでいる事）を紹介していただける方は右のQRコードより必要情報の登録をお願いいたします。



舟橋村のさまざまな施策や課題等について、
議員が自身の主張も含めて村の考え方聞く一般質問。
12月定例会で出された各議員の一般質問を紹介します。

田村 馨 議員 P 10

1. クマ対策について

前原 英石 議員 P 11

1. ナウル共和国との今後の連携について
2. 部活の地域移行の現状について

竹島 貴行 議員 P 12

1. 防災情報伝達システムについて
2. 新年度事業ビジョンについて

小杉 知弘 議員 P 13

1. 令和7年10月26日に行った防災訓練について
2. 消防団の支援について

森 弘秋 議員 P 14

1. 村の財政状況と今後の方策を聞く

加藤 智恵子 議員 P 15

1. 災害時における役場内の自力避難誘導環境の整備について
2. 少子高齢化と靈園のニーズについて



◀動画は
こちら



第1種狩猟免許取得 補助を検討

Q ツキノワグマ出没時における村の対策について問う

今年は特に、クマによる被害がニュースで多く取り上げられている。

近年の特徴として、異常なのは全国的な人的被害の多さが挙げられ、人里の田畠や人家周辺、さらに住宅地にまで出没範囲が拡大している。

さらに恐ろしいのは、クマの行動形態が変わり都市部に当たり前のように出没し、被害が常態化すること。この人家周辺そして街中にも出没するクマにどう対応していくのか、本気で取り組んでいかなければならぬそこで次の3点について問う。

・今年のクマの出没傾向と対応について。

不幸中の幸いではあるが、本村では人身被害の発生はないが、近隣自治体でのクマの出没件数自体は昨年度を大幅に超えており、特に11月においては例年の倍以上になっている。今年の村内でのクマの出没傾向をどう捉え、これを踏まえた対応について伺う。

・棲み分けを図る取り組みについて。

一昔前は、人里とクマの生息域が良い意味で分断されていたが、今はその境界が薄れているのではないか。人が住むエリアと熊の生息エリアが近接し、畑作業や散歩をしている人が熊に遭遇するといったケースが増えている。とはいっても、クマと人の棲み分けを図る取り組みは基礎的対策として大切ではないか伺う。

・捕獲のための人材確保について。

クマを追い払う対策も重要であることはもちろん、住民の生命が脅かされる恐れがある場合には、適切に捕獲しなくてはならない。その担い手として、猟友会の方々には大変なご尽力をいただいているが、高齢化や後継者不足の課題があり、人材確保や育成期間の短縮は、喫緊の課題となっている。警察OBや自衛隊OB等、県などとも連携して人材活用を図ることの必要性について考えを伺う。

A 第1種狩猟免許取得者への補助について検討

令和7年10月9日に村内でもクマ目撃情報があった際は周囲を役場職員で現場確認し、目撃情報を村ホームページや結ネットで報告した。クマのものと思われた糞を発見した旨の警察への通報が複数件あったが、いずれも小動物の糞であることが判明し、大事には至らなかった。村内でツキノワグマが出没した際は、令和3年9月1日に締結した鳥獣被害対策共同実施協定に基づき、地鉄線路の北側は上市町、南側は立山町の各猟友会に出動いただくこととしている。その際は警察にも連絡をとり付近の安全確保に万全を期すとともに、IP告知や広報車により注意喚起にあたりたい。

棲み分けが必要ではあるが、舟橋村は山間部ではないため他市町にお願いせざるを得ない。

村の猟友会には9名が在籍されているが、取得されている資格はハクビシン等の捕獲のための「わな」狩猟免

許のみであり、今後狩猟ハンターの育成が急務と認識している。銃を撃つことができる第1種狩猟免許を取得しているのは渡辺村長のみであるが、当該免許取得に向けた補助や銃購入に係る補助制度の創設、銃保管に対する講習等、様々な課題があり、今後検討を図ってまいりたい。



02

一般質問

前原 英石 議員



◀動画は
こちら



ふるさと納税と関係人口の 増加に期待

Q ナウル共和国との今後の連携について問う

2025年9月27日、万博パビリオンにおいて「面積小さくとも魅力いっぱい、舟橋村とナウルが広報連携」と

いうことで、万博パビリオンで覚書を結ばれましたが、その後の取組と今後の展望について説明を求める。

A ふるさと納税返礼品の新たなコンテンツとしたい

ナウル共和国公式アイテムの物販協力と準公式アイテムの作成及び販売に向けて検討している。準公式アイテムは、ふるさと納税返礼品として限定的な取扱いとし、税収確保につなげたいと考えている。万博に行けなかった

方や再度ナウルパビリオン体感を望むファンも多く、ナウル博開催についても模索している。SNSでの情報発信についても考えており、関係人口創出に寄与したい。

中学校部活動・地域展開の実現を目指す

Q 部活動の地域移行の現状について問う

これまでに、部活動の移行についてロードマップを示されていましたが、現状についての説明を求める。全国では50%以上の自治体が移行を完了していると聞きますが、舟橋中学校の移行完了の目途は。

移行されれば舟橋中学校の部活動は0となるのか。

新年度入学予定の保護者に対して部活動についての説明はされているのか。

テトラでは、学校や生徒の希望に少しでもこたえられるよう、橋渡しの役目を担うと話しておられましたが、実績は出ているのか。

部活動を継続して続けたい子供・保護者にとって、中学校に部活動がなくなれば、あとは保護者の判断と責任において継続して行える受け入れ組織やチームを探すことになるのか。

A 地域住民の協力を得てこども達の活動機会確保に努める

文部科学省が設置する「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」の発表によると、令和8年度から6年間と位置づけた改革実行期間内に、原則として休日は全ての学校部活動において地域展開の実現を目指すこととされた。

舟橋村においては、部活動検討委員会で協議を続けた結果、令和8年度からの部活動については休日においては実施しないことを令和7年9月に小中学校の保護者へ通知した。また、11月の学習参観の際に、教育委員会

事務局及び舟橋中学校より令和8年度以降の部活動について説明した。参加生徒数減少により募集停止となる部活動もあるが、現状において地域の方の指導により練習を行っている部活動もあり、今後地域クラブとして活動できるよう協議をすすめる。

少子化の影響もあり舟橋村で多様なクラブを設立することは難しいが、テトラや関係機関と協議を進め、こども達がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保に向けて取組を進めたい。



◀動画は
こちら



防災情報伝達システム 先進自治体に学ぶ

Q 防災情報伝達システムの提言と村長の見解を問う

防災情報とは災害を防ぐ為の情報です。災害が生じる前に減災・防災への取組みは、村民の命を護る観点と減災のために重要なことです。

防災先進地として鳥取県日吉津村を訪問し、緊急防災減災事業債を活用し設備投資負担無く防災行政無線デジタル化事業を実現された村の取組みを聞いてきました。

肝は、村民へ防災緊急情報が確実に伝わることを重視したものです。舟橋村の現広報手段は、家の中への広報音は聞こえず、避難緊急情報が村民に伝わる確率が低いと思われます。

情報端末を各戸へ配布し、村民に緊急情報が直に伝わる取組みを提言し、防災・減災対策への見解を質しました。

A すべての方に行き渡る情報伝達環境の構築を目指す

令和7年10月26日に実施した防災訓練において、防災スピーカーによる音声が聞こえない等のお声をいただいた。音量の調整等対応中であるが、近年の高気密住宅ではその音声が屋内にまで届くものではなく、荒天時の際はさらに届けにくいものとなる。結ネット災害時モード切替により、プッシュ型による防災情報を通知したが、デジタル端末をお持ちでない方もいらっしゃるため購入補助の検討はしているが、全員までには至らないと思わ

れる。結ネット活用の先進自治体である滑川市では、通知内容を音声で読み上げる機能を有するスマートディスプレイ貸与の実証実験実施の報道があった。このような装置があれば、スマートフォン等がなくても村や自治会からの日常の案内や緊急時における情報伝達の環境整備が期待できる。滑川市から提供いただいた情報の精査を進め、導入の可否等を含めて判断したい。

新年度予算・未来が開かれる投資に重点

Q 来年度予算編成と村長の新年度ビジョンを問う

今の時期は来年度事業の予算編成検討が為されている頃です。

村の事業は村民の為のものであり、事業精査と予算配分権限は村長にあります。

既成事業で既得権化しているものを整理し、目的が曖

昧なものは削減する勇断も必要でしょう。村長には権限を活用し、事業趣旨や目的を明確にして成果を村民に示されることを期待するものです。

村長の来年度事業のビジョンと予算編成に取組む姿勢について、見解を質しました。

A 厳しい財政事情ではあるが、明るい未来を拓く新年度予算を編成

子育てに関しては子育て環境の更なる拡充、高齢者世代にはウェルビング向上を見据えた事業の展開が必要であり、それらを実現できる予算編成に臨む必要があると考えている。本年度中に自動運転バス導入の是非を判断することは従前より変わりないが、仮に自動運転バスは導入しないとの結論に至った場合であっても、代替の交通施策は必要。現状において日々の移動手段にお困り

の方に対して繋ぎとなる移動手段確保の推進、補助等の検討も必要である。

しかしながら、厳しい財政事情のもとで新年度予算編成に取組むこととなると想定している。税収増加の取組みに軸足を置き、その為の投資、未来が開かれる投資に重点を置いた予算の編成に取組みたい。

04 一般質問 小杉 知弘 議員



◀動画は
こちら



結ネットを活用し 適切な情報伝達体制を確認

Q 令和7年10月26日に行った防災訓練について問う

1点目として本防災訓練について、村としての現時点での総括及び、総括内容を村民に向けて発表する予定の有無について伺います。

次に、自主防災組織の育成や支援に関する今後の展望について、ご所見を伺います。舟橋村地域防災計画には、自主防災組織の役割や村の支援内容が多岐にわたり記載

されていますが、現状は計画書に示されている水準に必ずしも達していないと感じています。

自主防災組織は共助の要です。まずは地域防災計画の内容を一層周知いただくとともに、村としての支援強化を期待します。

A 交付金や防災士養成研修補助制度のさらなる周知を図る

今回の防災訓練は、大雨による白岩川氾濫を想定して、舟橋、佛生寺、稻荷、竹内地区を避難対象地区として実施。地区公民館と舟橋小学校体育館とを合わせて、のべ120名の避難者を受け入れた。普及を推進している結ネットを活用し、時系列での適切な情報伝達体制が確認できたことが成果と捉えている。訓練総括の発表は予定していないが、令和7年12月2日の自治会長会議の場で自治会長様にご報告させていただいた。次回以降の訓練では、ふなはし荘以外の福祉施設へも参加を声掛けしてほしいというご意見や、今回は対象とならなかった地区にも訓練を実施してほしいというご意見をいただいた。

本村における自主防災組織は、各自治会単位で位置付けている。自然災害発生時における行政主導の避難対策のみでは限界があることから、住民主体の自主防災組織の取組みへの支援・強化は重要。「舟橋村自主防災組織資機材整備事業交付金」制度により、これまでに防災用品や炊き出し用大鍋等の資機材整備を支援してきた。また、地域の防災リーダーを育成し自主防災活動の支援を図るため、舟橋村民もしくは村に在勤する方が防災士養成研修を受講する際の受講料とテキスト代を村が全額負担し、防災士の資格取得を推進している。

消防団員の待遇改善に向けて各種施策を検討

Q 消防団への支援について問う

消防団員への食糧備蓄の補助と、「消防団応援の店」登録の促進について伺います。

現在、消防団屯所には団員が負担した資金で一定の食糧を備蓄していますが、長時間の活動・待機に備え、村として一定額の補助を行うべきではないかと考えます。

次に「消防団応援の店」についてです。これは、賛同事業者が消防団員やその家族に割引等のサービスを行う制度ですが、現在村内企業の登録はゼロの状態です。現役団員の福利厚生の向上、そして新規団員の確保のためにも、村内企業への登録促進をぜひ進めていただきたいと考えます。

A 先進事例、導入事例を参考に検討

消防団員の食糧備蓄については、団員の待遇改善の一環として検討する価値があるものと考えるが、他自治体の先進事例等を参考に、どのような支援方法が適切であるか検討する。

「消防団応援の店」制度は、団員が利用する店舗で割引やサービスを受けられる仕組みであり、団員への待遇

改善と地域ぐるみによる応援体制を構築する有効な手段と考えられる。本制度の導入には、商工会や地域の事業者との連携の在り方を含めて調整が必要となることから、他市町の導入事例や運用方法を参考にしながら、手続きを進めてまいりたい。

05 一般質問 森 弘秋 議員



◀動画は
こちら



投資的支出により 村民の幸福度向上を目指す

Q 村民の幸福度向上に向け、村の財政状況と今後の方策について問う

9月議会で「実現可能な公約を掲げるべきだった。」「やりたいことがあっても投資できる予算がない。」等。「金がない。」と。村の予算からしてできる範囲が限られているのです。少ない予算を如何に村民のために使うか？如何に工夫するか？です。「未来へと持続する村づくり。」舟橋村を「未来へ」だけでなく、さらに先の「未来へと」持続していく村を作ります。と。自動運転バスの導入は？関係人口3万人の達成等公約を掲げたができないと陳謝。村の基金を取り崩しの検討を深めなければならない。「皆さんにネガティブな心象を持たれたと察している。」来年度予算編成にあたって、いくつかの事業を停止。税収を増やすための投資に回すとし、「基金を食いつぶしてしまう前に投資をしたい。」と。南太平洋のナウル共和

国パビリオンとの広域連携協定を行っておられる。これが投資ですか？広報連携に関する覚書は、村民の福祉向上のために役立つのですか？国際的に活躍・知名度上げ、『日本の舟橋村』ここにありますか？

先日、鳥取県日吉津村に行きました。「大きな自治体も小さな自治体も同じように事業を行うため経費に負担が大きい、特に、（中略）自治体DX等はシステムに関する委託料が膨大に増えており、それに対する一般財源の確保が厳しくなってきてる」と言っている。舟橋村においても同様。今後の見通しは？村民のために何をどうされるのですか？村民の幸福度の向上のために、どんな仕掛けをされるのですか？

A 長期的視点に立ち、投資的支出による全世代への支援を目指す新年度予算を編成

厳しい財政事情下ではあるが、掲げた公約を実現するためにも、新年度は税収を上げるために投資を重要度の高いものとして予算編成に取組みたい。自治体においても、お金を稼ぎ、お金を投資に回す取組みが、これまでの舟橋村にはなかったので、この点を具体化した予算としたい。

自動運転バス導入については、当初の予定どおり今年度中に導入の是非を決定し、方向性を定めたいが、バスは単なる交通手段ではなく、乗車することで得られる移動以外の効果を創出すべきものであると考える。自動運転バス導入に至らなかったとしても、先駆的な地方公共交通のあり方を実行する費用対効果の高い施策を展開したい。

関係人口3万人創出については、そもそも関係人口の定義付けが諸説あるが、ふるさと納税で舟橋村を支援いただいている方や、さらに広義に捉えるならば「舟橋村」というワードに注目いただき、舟橋村に意識を向けていただける方も広い意味では関係人口に含まれるものと思われる。各種SNSで舟橋村に注目いただいている方は既に数十万人いらっしゃるが、継続的にふるさと納税により舟橋村を支援いただける方の人数のみで3万人とな

る取組みを継続してまいりたい。

サンフラワープロジェクトについては、今年度府内に委員会を設置して毎月進捗を確認している。今年度は食生活改善推進委員会や園むすびプロジェクトとの協働事業を実施したほか、文化祭でも催事を行い、昨年度より幅広い活動を展開している。



06 一般質問

加藤 智恵子 議員



◀動画は
こちら



まずは小中学校体育館の避難所機能の向上を目指す

Q 役場における災害時自力避難環境の整備に係る誘導表示・導線確保の必要性について問う

令和6年能登半島地震では、役場内で災害対策本部と避難所が同時に稼働しました。今後、限られた人員で両機能を適切に運営するためには、職員の案内に依存せず、避難者が自ら安全区域へ移動できる環境整備が不可欠です。現状、庁舎内の避難誘導表示や導線案内は十分とは

いえず、深夜・休日も含め職員不在時の発災を想定し、迷わない導線確保や停電時にも機能する案内体制の構築が求められます。位置図の常設掲示、蓄光素材の床面誘導、災害時に展開できる案内パネル、さらに避難所と災害対策本部の事前ゾーニング設定について伺う。

A 避難所として開設せざるを得なくなった場合の備えとして検討

避難所の開設にあたっては、十分なスペースを確保できることや空調設備が整っていることがより多くの方を受け入れる場所として機能的と考えられることから、舟橋村としては、まずは、小中学校の体育館の避難所機能を高めたいと考えている。

現在、役場内には避難所案内の標識は整備していないが、フロアごとの避難スペース位置図、床面誘導テープや矢印サイン、災害時のみ引き出すロールスクリーン式

案内パネル等の設備は、避難所としての案内表示や避難導線として有用と考える。

役場大ホールを避難所として開設するにあたっては、役場内の機密文書や重要書類、通信システム設備のセキュリティ確保等の観点から、慎重な判断が必要。最終的に、役場大ホールを避難所として開設せざるを得なくなった場合の備えとして、避難所エリアと災害対策本部エリアのゾーニングについても検討する。

村内における公営霊園整備は難しい

Q 高齢化と“子に頼らない終活”への対応、多様化する霊園ニーズへの対応について問う

高齢化の進展に伴い、家族に負担をかけない終活を志向する住民が増加しています。全国では、宗教・宗派を問わない霊園や、永代供養墓・樹木葬・納骨堂など、多様な供養形態が拡大しています。舟橋村においても、公

営で利用しやすく多様な選択肢を備えた霊園整備は高齢者の不安軽減に資すると考え、終活ニーズの把握状況、他自治体の取組状況、公営霊園整備の可能性について伺う。

A 村内での霊園整備は困難。近隣の既存施設の使用を検討いただきたい

現在のところ住民からの具体的な霊園整備の要望は把握していない。

本村における墓地等の設置基準は、「舟橋村墓地、納骨堂又は火葬場の経営の許可等に関する条例」において、公衆衛生やその公共の福祉の見地から支障がない場所で、河川等から50メートル以上、もしくは国道、県道、鉄道、住宅、学校等から100メートル以上離れていることに加

えて、隣接する住民の同意が必要。

面積が3.47平方キロメートルである舟橋村においては、建設場所が極めて限定されており、住環境への影響等を考慮すると、公営霊園の整備は大変困難。

今後の方針としては、住民からの要望や相談が増加した場合には、その時点改めて検討したい。それまでは、上市町や立山町等、近隣公営墓地の使用を検討いただきたい。

My Recommended Movies

私のおすすめ映画（竹島議員）



富山県東部消防組合の
導入最新車両をバックに撮影

私のおすすめ映画
Vol.4

超高層ビル火災に人命救助と消火活動にあたる消防士達の物語

『タワーリング・インフェルノ』（原題：The Towering Inferno）



『タワーリング・インフェルノ』

デジタル配信中

権利元：ワーナープラザーズジャパン合同会社
ブルーレイ＆DVD 発売元／販売元：

株式会社ハピネット・メディアマーケティング

©1974 20th Century Fox Film Corporation and
Warner Bros. All rights reserved.

主演は往年の名優ポール・ニューマンとスティーブ・マックイーンで、地上 550 メートル・138 階、サンフランシスコにそびえ立つ世界最大の超高層ビルが、その落成式の日に地下の発電機の故障から火災を発し、やがて数百人の生命を飲み込む炎の地獄と化して燃え上がる。その大惨事を中心に、直面した人々のドラマを描く映画である。

そして、スティーブ・マックイーン演じる消防士が仲間の消防士達と、ポール・ニューマン演じるビルの設計者が命を懸けて消火活動と人命救助に取組むストーリー展開となっています。この中でビル建設時の手抜き工事が火災の引き金になっており、ビル竣工式典に集まった著名な人々の人生模様もストーリーに色を添えています。

私は建築を専門とし、人生の半分近くを建設分野で多くのことを経験させていただきました。その仕事に携わる中で先輩より「人生は出会い」という色紙を頂き、何事も一人で出来ることは限られ周りに多くの人達がいることで仕事が遂行できることを教えられ実感

させていただきました。この映画では、超高層ビル竣工記念式典に集まった様々な人生模様を持つ多くの招待客の絡みや、設計通り工事が為されてなかった手抜き工事が起因し火災が生じ、現場に出動した消防士達が命を賭して人命救助や消火活動の中での苦悩やビルの設計者が消防士達と連携し人命救助や消火活動に携わる姿をドラマチックに描いた映画ですが、自分の経験と照らし合わせ建設工事における手抜き工事による火災という設定に衝撃を受け、工事と関係のない人達が巻き込まれ犠牲になっていくストーリーに自分の単純な性格から怒りを抱きながら映画に見入ってしまった次第です。

本コラムのテーマは「おすすめ映画」ですが、実際のところ“おすすめ”ではなく、私には刺激的な映画でした。

しかし、この映画の中で“人生は出逢い”ということを確かに感じ取ったことを最後に付け加えます。



12月定例会議案一覧

会期：12月1日～12月12日

12月定例会に提出された案件について、付託された委員会で審査を行う**委員会質問**。
委員会での審査の内容と議案審議の結果をお伝えします。

付託先／議案 第34号・第35号・第37号（所管部分）・請願 第1号：総務教育常任委員会
議案 第36号・第37号（所管部分）・第38号～第40号：産業厚生常任委員会

議案	内 容 説 明	すべて可決
(34)	人事院勧告に基づき「舟橋村の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」の制定を行いました。	
(35)	「公職選挙法施行令」の一部改正に合わせて「舟橋村議會議員及び舟橋村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」の一部改正を行いました。	
(36)	県の要綱改正に合わせて「舟橋村ひとり親家庭等医療費助成に関する条例」の一部改正を行いました。	
(37)	令和7年度一般会計補正予算（第3号）…補正増額1億2,331万1千円 人件費として3,064万6千円、災害対策物品購入費として616万2千円、介護給付費・訓練等給付費として895万2千円、冬季の除雪経費として592万円等の予算が計上されました。一般会計予算の総額は23億6,500万7千円となりました。	
(38)	令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）…補正増額41万7千円 超過交付となった令和6年度県交付金の返還金として41万7千円の予算が計上されました。国民健康保険事業特別会計予算の総額は1億7,477万5千円となりました。	
(39)	令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）…補正増額663万円 令和6年度市町村負担金の精算に伴う療養給付費負担金等の追加支払として476万2千円等の予算が計上されました。後期高齢者医療事業特別会計予算の総額は7,412万1千円となりました。	
(40)	令和7年度簡易水道事業会計補正予算（第2号）…補正増額118万2千円 収益的収入として簡易指導使用料118万2千円、収益的支出として企業債の償還利息118万2千円の予算が計上されました。	
請願 第1号	「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准に向けた環境整備を求める意見書を国に提出することを求める請願書」について採択しました。	
選挙 第1号	指名推薦により、三郷利田用水市町村組合議員に、喜田 義孝 氏と尾島 健夫 氏が選任されました。	
議員提出 議案 第1号	女性差別撤廃条約選択議定書の早急な批准に向けた環境整備を強く要望するため、国会及び政府関係機関の長に意見書を提出することに決定しました。	



委員会質問 住みよい舟橋村

総務教育常任委員会

Vtuberとのコラボや舟橋村DAO等による新たな情報発信で、ふるさと納税は好調を維持

問 令和6年に比べて令和7年は寄附件数が減少しているが寄附額は増加している。その要因は。(加藤・古川)

役場総務課内に配置してあるシステム操作卓のマイクを中心に調整をすすめており、村内全域で聞き取りが可能となるよう対応したい。各ご家庭での対応については、主に高齢者を対象とし、結ネットを活用した情報伝達ツールの導入について検討をすすめたい。

答 舟橋村へのふるさと納税寄附状況は、令和6年1月から12月までは寄附件数は6,077件で寄附額は61,301,500円。そのうち2,913件(3,015,000円)が能登半島地震災害支援であった。能登半島地震災害支援による寄附は少額である場合が多いが件数は多い。令和7年は1月から10月まで寄附件数は2,398件であるが寄附額は61,482,000円。令和7年になり災害支援は減ったが、Vtuberとのコラボや舟橋村DAOを通じた情報発信、ナウルパビリオンでの舟橋村特産品の展示など地道ではあるが、ふるさと納税PRを継続した結果、10月時点で令和6年の実績を上回ったものと思われる。

災害時に備え給水タンクを導入

問 補正予算案に計上された災害対策物品購入費6,162千円の詳細は。(加藤)

システム標準化は自治体の責務であり作業は継続を要する

問 地方公共団体情報システム標準化が全国で進められているが、多くの自治体が財政負担面から強い危機感を示している。移行経費は国が負担するものとされているが、運用経費は自治体負担が基本とされている。運用経費についても国が財源手当するなど解決策を示すまで作業中断することも検討すべきではないか。(田村)

答 「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」第4条第2項において「地方公共団体は、国との連携を図りつつ、システム標準化を実施する責務を有する」とされており、作業を中断することはできない。自治体財政の大きな負担となる運用経費についても国が財源手当について改めて検討をはじめたとの情報もあり、今後の動向を注視して進めたい。

答 自然災害発生時の断水対策として、地区公民館等に飲料水用簡易給水タンクと車載バッテリー駆動型飲料水用移送ポンプを配備するもの。350リットルの容量がある給水タンクを11個導入するもの。

スピーカー音声は対応中。新たな情報伝達ツール構築も検討

問 鳥取県日吉津村では、デジタル防災行政無線の戸別受信機を家庭に配置し、アプリとも連動して運用している。舟橋村内でもスピーカーからの音声が聞き取りにくいとのご意見も複数いただいている。豪雨等の状況が重なった場合、その状況はさらに顕著に表れると思うが、対策はあるか。(古川)

ロゴマーク・ひまわり畑周辺のテーブルは春先に完成の見込

問 サンフラワープロジェクトの進捗状況は。(森)

答 当該プロジェクトは職員で構成するサンフラワープロジェクト推進委員会で事業を進めている。ロゴマークは同委員会で選考をすすめており、最終的にはデザイナーと村長とで意見を擦り合わせて確定したい。繰越事業となったことから、小学生にデザイン画を作成してもらい、ふなはしまつりで最優秀賞を発表するなど、当初は予定していなかったプログラムを組み入れることもできた。畑周辺に設置するテーブルは県産材を使用したものを見込である。

10月に実施した防災訓練において、スピーカーによる音声の聞き取りにくさは当局も認識している。



村民の幸福度向上を！

産業厚生常任委員会

地域おこし協力隊員を増員し、放課後におけるこども達の新たな居場所を創設

問 地域おこし協力隊を放課後対応として増員とのことであるが、具体的な活動予定及び人選の目途は。(小杉)

答 放課後におけるこども達の居場所づくりのコーディネーターとして活動いただきたいと考えている。現在、あおぞらクラブと民営のフォーク・トヤマで学童保育事業を実施しているが、令和8年度の利用希望者は2施設あわせて現在より約20名増える見込み。あおぞらクラブの利用は低学年を優先し、学童に入れなかつた主に高学年の児童を対象に、舟橋会館の一室を利用して放課後の居場所を設け、児童、保護者ともに安心できる居場所を提供したいと考えている。地域おこし協力隊員には、コーディネーターをつとめていただきつつ、村の子育て支援全体のコーディネートを期待している。採用する人材については、地域おこし協力隊専用の募集サイトを活用して幅広く募る予定。



脳の健康度セルフチェックツールとして活用

問 健康づくり推進費で補正予算計上されている「のうknow」使用料とは。(竹島・小杉)

答 エーザイ株式会社が提供する、脳の健康度をご自分で計測するツール。スマートフォン等からQRコードを読み込み、トランプカードを使ったゲーム感覚で実施できる。自身で脳の健康度をチェックいただき、健康管理に活かしてほしい。

除雪体制を強化し日中の除雪作業にも対応

問 物価や人件費が上昇している現状において、除雪費への影響は。また、今回増額補正することによって、村の除雪業務の体制に変更はあるのか。(古川・前原)

答 除雪協力事業者との契約は県が定める単価を引用して締結している。物価上昇を考慮された単価となっている。今回増額補正することで村の除雪車は3台増となり9台体制で実施できることとなる。これまで対応が困難であった日中の除雪作業にも対応していきたい。

企業債発行により水道管の耐震化を進め、水道事業の安定運営に努める

問 簡易水道事業会計で補正されている営業外費用の118万2千円は全額償還利息なのか。また企業債の返済等、今後の水道会計における財政事情の見通しは。(竹島)

答 元金5,480万円の企業債の全額利子。借入額が確定して利率も確定したことでの回補正計上した。企業債を発行して実施している事業は水道管の耐震化に係る事業費であり、今後も安定した水道事業を運営していく上で必要。一時的に企業債発行額が上がる時期もあるが、償還額は今後減少していく見込み。

総合計画を改定し、舟橋村の「新たな魅力」を明記

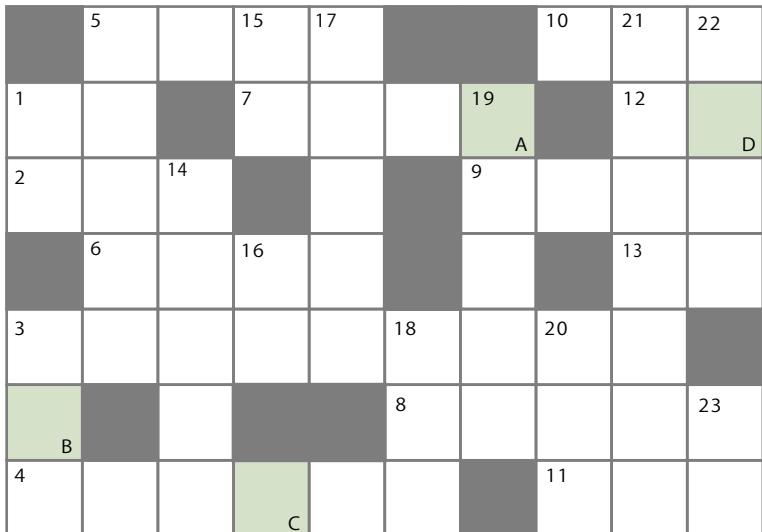
問 総合計画改定に際して、これまでと方向性を変えたい点や新たに盛り込みたいと考えている点はあるか。特に村の将来像に掲げる「新たな魅力」に関する部分について説明を求める。(前原)

答 現行の総合計画が令和8年度より後期に入るため、現在改定を進めている。「新たな魅力」として強調したいのは、サンフラワープロジェクト推進等による「関係人口拡大」、農産物を加工した特産品開発を核とする「農産物の高付加価値化」、様々な分野において活躍している若手や次世代リーダー同士の繋がりの場を創出する「地域コミュニティの活性化」について特に強調するものとしたい。

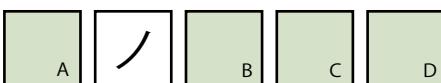
Bridging Crossword



ふなはし
ぶりっじんぐ
議会だより
Funahashi Bridging Voices



今年の六十干支は



○ヨコのカギ

- 1 : 「白湯」の読み
- 2 : 難解な書物を終わりまで読み通すこと
- 3 : 雲南省で取り組んでいる小規模多機能自治の事
- 4 : 英語で空中廊下の事
- 5 : 結婚したての男性の事
- 6 : 議会視察で訪れた、天然還元水の販売会社「(株)○○命水」
- 7 : 軍事上の目的のために支出される国家経費の事
- 8 : 「カッコウ」と鳴く鳥の別名
- 9 : 限りなくながく続く世の事
- 10 : 加藤議員の名前
- 11 : 航空機が飛行する決められたルートや経路の事
- 12 : 家の中でふだん家族がいる部屋の事
- 13 : 英語で「dog」

○タテのカギ

- 1 : 新潟県の佐渡島全域を市域とする市、○○市
- 3 : 古代インドの「チャトランガ」が起源とされる盤上競技
- 5 : 喜びを分かち合うために交わすお酒の事
- 14 : 中国唐代の詩人、日本では白楽天の名で知られている
- 15 : 英語で「記録」の意味、「丸太」が語源
- 16 : 「匙」の読み
- 17 : 昨年の議会視察で訪れた島根県の自治体
- 18 : 気持ちよく楽しい事
- 19 : 昨年の議会視察で訪れた鳥取県の自治体
- 20 : 日本の主要四島の中で最も小さい島の事
- 21 : 人工衛星が地球などの天体の周りを回る経路の事
- 22 : 神社に左右「一対」で設置されている想像上の動物の像
- 23 : 物事の道理や筋道のこと

議会広報特別委員会

委員長：小杉 知弘
副委員長：古川 元規
委員：前原 英石

あとがき

令和8年最初のFBVいかがだったでしょうか？新しい年を迎え、力強く駆ける「馬」の勢いにあやかり、我々村議会も、舟橋村の未来へ向けて一步一歩、着実に前進してまいります。また、舟橋村の第5次総合計画もいよいよ渡辺カラーを前面に押し出して作られるであろう後期計画に入って参ります。そんなこれからの方政の取組について議会視点で分かりやすく、村民の皆様にお伝えしてまいりたいと思いますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。（古川 記）

議会・議会だよりについて、
皆さまのご意見・ご感想を
お寄せください。



▲
読者アンケートフォーム

〒930-0295 富山県中新川郡舟橋村仏生寺 55
TEL:464-1121(代) FAX:464-1066 Mail:info@vill.funahashi.toyama.jp
舟橋村議会事務局